

【第79回 卒業証書授与式】

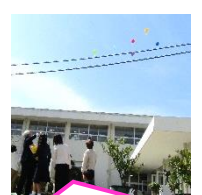
昨日、山口利徳・菅原善文 両自治会長様、本校の卒業生でもある市議会議員 橋本裕太様をはじめ、多くの来賓の御臨席のもと、「卒業証書授与式」を執り行いました。今回は、市内26校ある小学校の中で、大草小学校において、石部邦昭教育長が直接告辞を告げられました。唯一の卒業生に、在校生、保護者、地域の皆様、教育委員会、本校の教職員で、卒業の門出をお祝いできたことを大変嬉しく思います。卒業生は、この行事の最も重要な場面である「卒業証書授与」に係る、一連の所作も無事に終え、「別れの言葉」においても、大きな声で、自分の気持ちや想いを述べることができました。私が述べた式辞においても触れましたが、「やるときはやる」・・・「その時の集中力の高さ」を確信した場面でした。そして、在校生も、自分の役割だけでなく、互いに支え合いながら、卒業式を創り上げてくれました。特に、歌唱の場面では、少ない人数ですが、歌声を会場中に響き渡らせました。在校生もまた、「やるときはやる」そんな、底力を感じました。無事に卒業式を終えて、卒業生の見送りの場面では、学校運営協議会の富永信男会長の発案で「バルーンリリース」を実施しました。6個の風船が「鎌倉山」の上空に舞い上がる様子は、卒業生の想いや希望を表現しているようでもありました。最後の見送りの場面においては、在校生や教職員と共に、来賓の皆様にも参加していただきました。改めて「大草」という地域や風土の温かさを思い知らされました。大変有難く、心強い存在であることを再確認いたしました。この場をお借りして心から感謝申し上げます。私の主観ですが、今回の卒業式は、とても特別で、心に刻まれる卒業証書授与式となりました。



証書授与の場面です。



「別れの言葉」の様子



「バルーンリリース」の様子

【大草発表会の開催にあたって・・・】

先月19日(木)2学期に実施できなかった「大草発表会」を開催しました。子供たちは、全員参加！これが何よりでしたが、平日にもかかわらず御家族や地域の方々の50名を超える皆様に御参会をいただく中、嬉しかったり、有難かったりする心持ちであの場に居りました。年末の感染症の拡大によって、中止を余儀なくされ、その当時は残念でたまりませんでした。でも、それまでの子供たちの頑張りや準備と御覧になるのを楽しみにしておられた保護者・地域の皆様のお気持ちに応えたいという想いから、延期開催といたしました。当初予定した内容と異なるものもありましたが、文字どおり、子供たち同士も、お越しいただく皆さんに対しても「いい発表をしたい！」「素敵な大草発表会にしたい！」という気持ちが、本番の姿として十分表現されていたと思います。圧巻は、やはり「大草太鼓」・・・、しっかりと、気合いも想いも込められた素晴らしい演奏でした。野崎先生と馬場先生を中止とした熱心な指導と、それに応えた子供たちの努力の賜物です。すごく感動しました。御参会のみなさん方からのお話にも同様の感想が聞かれ、改めて、「大草っ子の本気の力」を痛感すると共に、子供たちのことを誇りに思う「大草発表会」となりました。



【AEDを移設しました】

公共施設や多くの方が利用する店舗等に設置してある「AED(自動体外式除細動器)」:心肺停止状態の傷病者に対して、電気ショックを与え、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器ですが、本校では、体育館の玄関に設置してあります。これまでは、玄関の内側でした(恐らく、盗難やいたずら防止などを考慮して)が、体育館に施錠がしてある際には、玄関の鍵を開けてから取り出す必要がありました。そこで、写真のとおり、玄関の外側に移設しました。ですから、運動場や近隣でAEDが必要な場面がありましたら、この記事や写真のことを思い出していただきたいですし、ぜひ、このことをお知り合いの方にもお伝えいただきたいと思います。勿論、AEDを使う場面がないことがベストですが、我々も、もしもの時に迅速かつ効果的に活用しなければならないですし、皆様方にとりましても、ぜひ、そうしていただきたいと考えております。



体育館玄関の外側に移設しました。